

学校教育目標	確かな学力を身に付け、心豊かで活力にみちた生徒の育成	経営理念	地域とともに地域の元気と活力をつくり出す ○学力の向上を図る学校 ○規律と活気のある学校 ○組織的運営をする学校
--------	----------------------------	------	---

項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	現 状 値 末	担 当	自己評価				学校関係者評価		改善方策	
									達成値		達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善方策
									10月	2月						
学力の向上を図る学校	1	基礎・基本の確実な定着を図り、自ら学ぶ生徒を育成する。	(1) 主体的・協働的に学習する生徒を育成するため「分かる+おもしろい」授業づくりに取り組む。	ユニバーサルデザインの考え方等に基づき、次の授業改善を実践し、生徒の学習意欲を向上させる。 ①導入の工夫 ②めあてと学習の流れの掲示 ③思考⇒交流⇒思考⇒表現 ④授業・家庭学習における選択の場面の設定	■教員質問紙調査 ○①～④の実践状況について当てはまると回答する教員の割合 ■生徒質問紙調査 ○「授業では、自分で考え、自分から取り組んでいます」と回答した生徒の割合	90%	88.7%	研究部								
			(2) ICTを活用し、教育活動の質の向上を図る。	①タブレットを協働的な学習の場面をはじめとした毎日の教育活動で活用する。 ②AIドリル「ミライシード」の活用等により、家庭学習習慣の定着を図る。	■生徒質問紙調査 ○「授業で1人1台端末をどの程度使っていますか」に「ほぼ毎日」と回答した生徒の割合 ○「学校の授業以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」に「1時間以上」と回答した生徒の割合	65%	63.2%		GIGA担当							
						55%	47.2%									
規律と活気のある学校	2	豊かな心と健やかな体を育て、活力ある生徒を育み、不登校の未然防止に努める。	(1) 自己肯定感を高めるとともに、人間関係形成力の向上を図る。	①「東広島スタンダード（JASMIN）」を徹底し、基本的な生活習慣の定着を図る。 ②学校全体で、「ポジティブ行動支援」と「SEL=8S」（人との関係づくり）を実践する。 ③部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動等、生徒の主体的な活動を充実させる。	■生徒質問紙調査 ○「自分には、よいところがあると思いますか」に肯定的に回答した生徒の割合 ○「学校に行くのは楽しいです」に肯定的に回答した生徒の割合	85%	84.5%	生徒指導部								
			(2) 不登校等生徒の学びを最大限に保障する仕組みを確立する。	①「不登校等の状況把握シート」により個々の状況を共有し、支援方針を定め、個別の支援を進める。 ②「分かる+おもしろい」授業づくりを学校全体で進める。	■不登校等状況把握シート ○状況の好転又は維持がみられた生徒の割合	90%	93.8%		不登校等生徒支援Co.							
組織的運営をする学校	3	組織的な学校運営体制を確立し、保護者・地域に信頼される学校をつくる。	(1) 「広島県の15歳の生徒に身に付けておいてもらいたい力」（自己を認識する力・自分の人生を選択する力・表現する力）を育む。	①生徒の心に寄り添った進路指導を進めるとともに、職業講話や職場体験活動等のキャリア教育の充実を図る。 ②教育活動の様々な場面で「自己を表現する機会」を設け、自分の強みを伸ばし、弱さを克服しようとする意欲を高める。	■生徒質問紙調査 ○「将来の夢や目標をもっていきます」において肯定的に回答した生徒の割合	70%	69.9%	キャリア・進路指導部								
			(2) 地域に開かれ、地域に貢献する学校であり続ける。	①HPや通信等により、情報の発信や地域行事への参加・協力を積極的に進める。 ②教育活動の充実に資するよう、運営協議会に生徒会が参加し、コミュニティスクールへの活動を活性化する。	■コミュニティスクールの実践状況 ○CS運営協議会の3回以上実施	3回	3回		管理職							
働き方改革の推進	4	学校における業務改善・業務削減を推進するとともに、教職員の働き方に対する意識を向上させる。	(1) 働きやすさと働きがい・やりがいのバランスがとれた職場づくりを進める。	①主任層の機能化と「対話と協働」による教職員のチームワークづくりを進める。 ②ICTの活用を含めた、恒常的な業務の見直しと効率化を行う。 ③年間行事計画を見直し、5時間授業の日を週2回設ける。	■教職員質問紙調査 ○「学校は働きがいがあります」において肯定的に回答した教職員の割合	95%	93.3%	管理職								

※目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」で表示する。

【目標達成率】 X = 達成値/目標値×100

【割合の評価】 4: X≥100 3: 80≤X<100 2: 60≤X<80 1: X<60

■自己評価
4…目標を上回って達成 3…目標どおりに達成
2…目標をやや下回って達成 1…目標をかなり下回って達成

■学校関係者評価
A…とても適切である B…概ね適切である
C…あまり適切でない D…全く適切でない
(N…判定できない)